

平成 22 年 10 月 27 日

各 位

株式会社システム・テクノロジー・アイ
代表取締役社長 松岡 秀紀
(証券コード:2345)東証マザーズ
東京都中央区築地一丁目 13 番 14 号
(お問い合わせ先)常務執行役管理本部長 内山 富士子
電話 03 - 5148 - 0400

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 4 月 30 日に公表しました平成 23 年 3 月期(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期累計期間業績予想の修正

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	677	10	14	15	1,145.85
今回修正予想 (B)	584	43	44	31	2,396.35
増減額 (B - A)	92	32	29	16	
増減率 (%)	13.6				
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間)	646	11	12	9	722.71

平成 23 年 3 月期第 2 四半期個別累計期間(平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 22 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	460	5	1	0	60.95
今 回 修 正 予 想 (B)	439	18	19	12	940.12
増 減 額 (B - A)	20	24	21	13	
増 減 率 (%)	4.5				
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間)	433	10	9	9	732.60

2. 通期業績予想の修正

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	1,400	50	43	11	862.56
今 回 修 正 予 想 (B)	1,268	4	0	13	1,000.45
増 減 額 (B - A)	131	45	42	24	
増 減 率 (%)	9.4	91.2	98.4		
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月 期)	1,324	15	14	4	351.05

平成 23 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	930	50	43	25	1,893.86
今 回 修 正 予 想 (B)	924	30	26	15	1,158.96
増 減 額 (B - A)	5	19	16	9	
増 減 率 (%)	0.6	40.0	38.8	38.8	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月 期)	924	43	42	35	2,675.08

3. 業績予想修正の理由

(1) 第2四半期累計期間業績予想修正の理由

当第2四半期累計期間の個別業績については、前期より続いているカスタマイズ案件売上高は引き続き好調に推移したものの、カスタマイズ案件対応の外注費が増加したこと、利益率の高いコンテンツ売上が計画を下回ったことにより売上高、利益とも当初計画を下回る見込みであります。

また連結業績においても個別の影響及び人材紹介・派遣事業の売上高が、雇用情勢が改善されず当初計画を大きく下回ったことにより売上高、利益とも当初計画を下回る見込みであります。

(2) 通期業績予想修正の理由

iLearning 事業につきましては、販売パートナーとの更なるパイプ強化を図り、法人向けサーバーソフトウェア「iStudy Enterprise Server」を中心とした企業における人材育成の提案に注力し、iStudy コンテンツ関連につきましては、iPhone に対応したコンテンツを順次リリースしていく予定です。また iPad に対応した新しいサービスを提供してまいります。Learning 事業につきましては、新たに始まった「Oracle 認定 Java 研修」の認知度向上に注力いたします。人材・派遣事業につきましては、新規マーケットとのビジネス展開に向け注力してまいります。

当社グループでは、新しいサービスの提供や新規マーケット拡大を重点課題として営業活動を展開してまいります。下期の景気動向につきましては、非常に不透明であり、特に雇用情勢は依然厳しい状況が続くと予想されます。これらの状況を踏まえ、通期の連結業績予想は、売上高 1,268 百万円、営業利益 4 百万円、経常利益 0.7 百万円、当期純損失 13 百万円に修正いたします。

また、配当金につきましては、現時点では、平成 22 年 4 月 30 日に公表した 1 株当たり 1,000 円とし変更はありません。

以上

ご注意:	本資料に記載されている現在の計画・見通しなどのうち、既に確定した事実でないものは将来に関する見通しであり、これらは発表日現在に入手可能な各種データに基づいて作成されたものであります。従って、実際の業績は様々な不確定要素が内在しており、上記の見通しとは大きく異なる結果となり得る場合もありますので、ご承知おきください。
------	--